

ナ小形ノ物デ、其形ハ *Apostasia Wallichii* = 似テ此レヨリナホ小形デアル。此ノ所ニ序ニ一言述べタイ事ハ、蘭科植物ハ一般ニ二大群ニ分ケラレ、其ノ一ツデアル *Diandrae* = 此ノ屬ハ入レラレテキルガ、其ノ方法ハ果シテ正シイカドウカト言フ事デアル。ナルホド雄蕊ヲ二ツ持ツテキルト言フ點ニ於テハ此ノ *Apostasia* ハ *Diandrae* = 入ルベキデアラウガ、其ノ植物全體ヲ考ヘテ見ルト、必ズシモソウデナイ。外形ハ *Tropidia*, *Corymbis*. 等ヲ含ム *Monandrae* 中ノ *Neottinae Tropidieae* = 極メテ似テキル。又其ノ花ヲ見ルト唇辨ハ全ク發達セズ、此點大イニ *Diandrae* 中ノくまがいさう屬 (*Cypripedium*) 等ヲ含ム *Cypripedilinae* ト異ツテキルノデ、私ハ此ノ *Diandrae* 中ノ *Apostasiinae* ハムシロ獨立シタ亞科ト考ヘ、*Apostasioidae* トシ、蘭科植物ノ最初ニヲキタク思フ。ソシテ此ヨリシテ *Diandrae* 及ビ *Monandrae* ガ導カレ、*Monandrae* ノ中ノ *Neottinae Tropidiae* ガ最モ此ノ *Apostasioidae* = 近イ物ト考ヘタイ。

せつぶんさうときばなせつぶんさうノ實生

久米道民

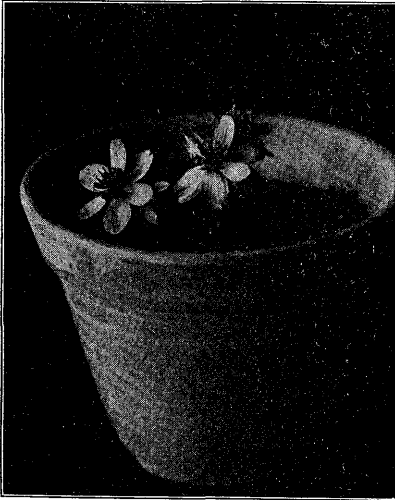
M. KUME: Seedlings of *Eranthis pinnatifida* and *E. hiemalis*.

せつぶんさう *Eranthis pinnatifida* ハうまのあしがた科 *Ranunculaceae* ノせつぶんさう屬 *Eranthis* = 屬スル植物デコノ屬ノ植物ハ中央及東部アジア並ニ南ヨーロッパニ産シ、凡ソ7種ヲ數ヘルコトガ出來ル。我國ニ産スルモノトシテハせつぶんさうガコノ屬ノ唯一ノ植物デ本州中部ノ山地ニ産シ、和名ノ示スヤウニ早春白色ノ花ヲ開キ可憐デアルノデ時ニ觀賞用トシテ栽培セラレル。きばなせつぶんさう *E. hiemalis*



第1圖 せつぶんさうノ開花 (約 1/3)

ハ南ヨーロッパ原産ノ植物デ形態ハ我國ノせつぶんさうニ似テソレヨリモ大ク早春黃金色ノ花ヲ開ク。カヤウニ早春美花ヲ開クノデ觀賞用トシテ栽培セラレ、我國ヘモ輸入サレテキル。



第2圖 さばなせつぶんさうノ開花
(約 1/2)

せつぶんさうハ雙子葉植物デアアルニ係ラズ其實生ハ子葉ガ只一枚デアツテ、其點甚ダ興味ガアル。然シ同屬ノきばなせつぶんさうデハ完全ニ二枚ノ子葉ガアツテ、著シク違ツテキル。勿論後者ニアツテモ子葉ノ柄ハ全ク癒合シテキルノデ其點ハ通常ノ二子葉ノ場合トハ異ツテキル。

雙子葉植物デ只一枚ノ子葉ヲ有スル例トシテハ我國デハけし科 *Papaveraceae* ノこまくさ *Dicentra pregrina* var. *pusilla*⁽¹⁾ デ其例ガ知ラレテキルガ、外國デモこまくさ屬 *Dicentra* ノ外同科ノやぶけまん屬 *Corydalis*⁽²⁾ ノ或種ニ其例



第3圖 せつぶんさうノ實生 (約 1/2)

ガアル。其他めぎ科 *Berberidaceae* ノ外國産ノみやをさう屬 *Podophyllum*・ジェフェルソニア屬 *Jeffersonia*⁽³⁾ 等ノ植物ニモ同様ノ例ガアル。うまのあしがた科 *Ranunculaceae* デ子葉ノ一枚ノ例トシテ從來知ラレタモノデハうまのあしがた屬 *Ranunculus* ノ *R. Ficaria*⁽⁴⁾・*R. Wettsteinii*⁽⁵⁾ ガアル。何レモ外國産デ、邦産ノモノハ其例ガ知ラレ

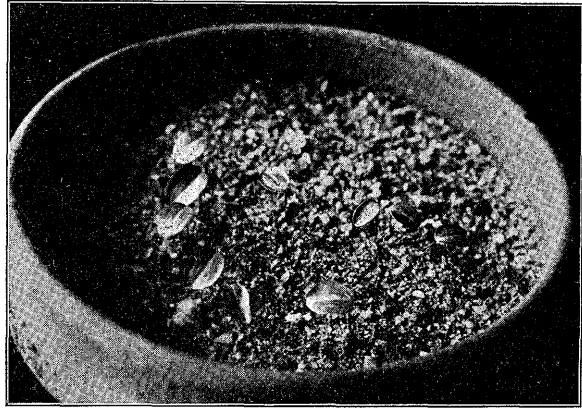
(1) 岡田喜一：一枚シカ無イこまくさノ貝割レ葉 (植物研究雑誌 第3卷 第12號)

(2) ENGLER-PRANTL: Natürliche Pflanzen Familien III, 2

(3), (5) R. WETTSTEIN: Handbuch der Systematischen Botanik

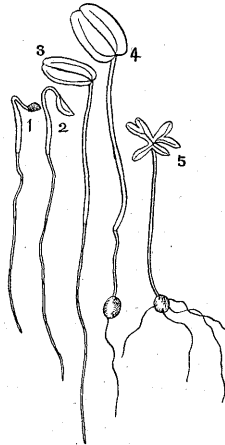
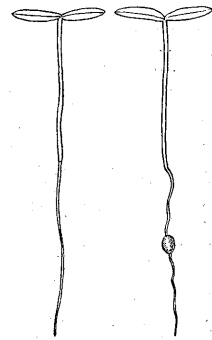
(4) ENGLER-PRANTL: Natürliche Pflanzen Familien III, 2

テキナイ。其他コノ科デ子葉ノ癒着ノ例トシテしねあふひ屬 *Glaucidium* デ我國ニ産スルしらねあふひ *G. palmatum*⁽⁶⁾ ガアル。しらねあふひデハ通常子葉ハ二枚デアルガ、其柄部ハ癒着シテキル。然シ稀ニハ子葉ノ葉身部分ノ基マデ合着シテ一枚ノ子葉トナツタモノヲ生ズル例ガ報告サレテキル。カヤウニウマのあしがた科・めぎ科等ノ植物ニ單子葉ヲ見ルコトハコレ等ノ植物ノ莖其他ノ構造ニ於テ單子葉植物ト近似點ヲ持つコト併セ考ヘテコレ等ノ植物ガ單子葉植物ト何等カノ類縁關係ノアルコトヲ想像サセルノデアル。



第4圖 きばなせつぶんさうノ實生 (約 1/2)

せつぶんさうデモきばなせつぶんさうデモ早春三四月ニ花ヲ開キ、六月頃ニハ果實ガ熟スル。果實ハ莢莢デアツテ、裂ケテ中カラ種子ヲ出ス。種子ハ翌年早春發芽シテ子葉ダケヲ出シ、初夏ニハ地下ニ小サイ塊根ヲ殘シテ枯レ、其年ニハ決シテ葉ヲ生ジナイ。コノコトハ同科ノしらねあふひ⁽⁷⁾ニモ見ルガ一般ニハ珍シイコトデアル。更ニ次ノ年ニナルト初メテ一枚ノ葉ヲ生ジ、ソレ以後ノ年ニハ葉ノ數ヲ増シテ來ル。

第5圖 せつぶんさうノ實生ト二年目ノ苗。
1-4 實生 5 二年目ノ苗

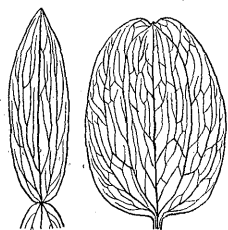
第6圖 きばなせつぶんさうノ實生

(6) 熊澤正夫：しらねあふひ屬並ニソノ近似屬ノ構造ト類縁 (植物學雜誌 第44卷 第525號)

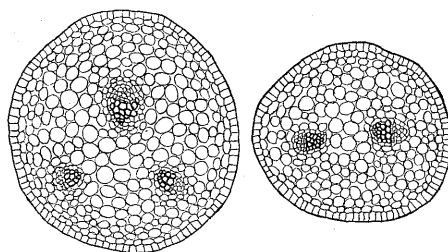
(7) 熊澤正夫：しらねあふひノ子葉ニ就イテ (同上第45卷 539號)

子葉ハせつぶんさうデハ其葉身部ガ只一枚デ卵狀橢圓形ヲ呈シ、鈍頭デ中央ガ少シク凹入シ、通常長サ 12-17 mm 幅 9-13 mm デアル。葉身部ノ基ニハ長イ柄ガアリ、幼芽ノ部分ハ地下ニ隱レテキル。きばなせつぶんさうデハ子葉ハ二枚ノ葉身部ヲ有シ、長橢圓形デ鈍頭又ハ鈍頭、通常長サ 10-16 mm 幅 4-7 mm デアル。其柄部ハ長クテ全部癒合シ分離シタ部分ヲ殘サナイ。幼芽ノ部分ハせつぶんさうノ場合ト同ジク矢張地下ニ隱レテキル。

せつぶんさうノ子葉ガ只一枚デアルコトハ二ツノ子葉ガ合一シテ出來タモノトモ考ヘラレルガ又二枚ノ子葉ノ中ノ一ツダケガ發達シテ他ガ退化シタモノトモ想像サレル。きばなせつぶんさうデ二枚ノ子葉ガ同様ニ發育シテキルコト



第 7 圖 せつぶんさう
(右、約 $\times 1.5$) トきば
なせつぶんさう (左、
約 $\times 2$) ノ子葉



第 8 圖 せつぶんさう (右) トきばなせつぶん
さう (左) ノ實生ノ柄部ノ横斷面 $\times 40$

せつぶんさうノ子葉ノ葉身部ノ先端ガ中央デ凹入シテキル點トカラ考ヘルトせつぶんさうノ子葉ノ一枚デアルノハ二枚ノ子葉ノ合著シタモノ、様ニ思ハレル。然シ子葉ノ葉身部ノ葉脈ノ有様ヤ其柄部ノ横斷面ノ構造カラハ癒合シタ事實ヲ證明スルコトガ出來ナイ。きばなせつぶんさうノ子葉ノ柄部ノ横斷面ニハ二個ノ同大ノ維管束ヲ有シ、其各々ハ各子葉ノ葉身部ノ主脈ニ連絡シテキル。せつぶんさうノ子葉ノ柄部ノ横斷面デハ一個ノ大ナ維管束ト二個ノ小サイ維管束トガアルガコノ大ナ方ノ維管束ハ子葉ノ葉身部ノ主脈ニ連絡シ、二個ノ小サイ方ノ維管束ハ葉身部ノ基部ニ最モ近イ一對ノ側脈トナル。從ツテせつぶんさうデハ只一枚ノ子葉ヲ有スルガソレガ二枚ガ合シテ一枚トナツタカ、一枚ダケガ發育シテ他ガ退化シタカハ形態的ニ見テ明カニスルコトガ困難デアル。